



NEJIREBANE, No. 121, 31. Dec. 2007

三重県のアリヅカムシ相

A Note on the Pselaphine Fauna (Coleoptera, Staphylinidae) of
Mie Prefecture, Honshu, Japan
Shuhei NOMURA and Hideyuki YOKOZEKI

野村周平

〒169-0073 東京都新宿区百人町3-23-1 国立科学博物館動物研究部

e-mail: nomura@kahaku.go.jp

横関秀行

〒512-1214 三重県四日市市桜台2丁目 5-361

e-mail: yokozeki@cty-net.ne.jp

三重県は東、濃尾平野に面し、西側に鈴鹿山脈を控え、中部は東西に広く、東は志摩半島として遠州灘へ張り出し、西側は大台が原山へ至る山岳地帯となっている。南部は紀伊半島の東部を形成している。県土の面積は広いが、強い特色を備えているわけではない。三重県のアリヅカムシ相については、前報（野村・秋田，2007）に記したとおり、最近までほとんど知られていなかった。しかし今回、著者の一人横関の10年以上に及ぶ採集調査の結果から、ほぼその全容を語るできるようになったことは大変に喜ばしい。

以下に横関が採集した三重県および隣接他県のアリヅカムシの採集データを記す。採集データ中、すべて採集者は横関なので省略する。雌個体のみのため、種の特定ができないものについては、sp.以下の番号をつけず、種の番号を与えずに、※印で示す。今回初めて三重県から記録されると考えられる種については、種名の末尾に※印で示した。

リスト中の採集地名は市町村合併以前の古いままで示しているが、2007年10月現在では次のように変更されている。員弁郡北勢町、員弁町、大安町、藤原町→いなべ市；上野市、名賀郡青山町、阿山郡伊賀町、鳥ヶ原村、阿山町、大山田村→伊賀市；鈴鹿郡関町→亀山市；津市（旧）、久居市、安芸郡河芸

町, 芸濃町, 美里村, 安濃町, 一志郡香良洲町, 一志町, 白山町, 美杉村→津市 (新); 一志郡嬉野町, 三雲町, 飯南郡飯南町, 飯高町→松阪市; 多気郡宮川町, 大台町 (旧)→大台町 (新); 度会郡南勢町, 南島町→南伊勢町 (新); 度会郡大宮町, 紀勢町, 大内山町→大紀町 (新); 志摩郡浜島町, 大王町, 志摩町, 阿児町, 磯部町→志摩市; 北牟婁郡紀伊長島町, 海山町→紀北町; 南牟婁郡紀和町→熊野市; 南牟婁郡鵜殿村→紀宝町.

STAPHYLINIDAE ハネカクシ科

PSELAPHINAE アリヅカムシ亜科

Bythinoplectitae シュモクアリヅカムシ上族

1. *Parapyxidicerus carinatus* (K. SAWADA) シュモクアリヅカムシ*

照葉樹林の落葉中から発見されるが多くない。本州, 九州から記録され, 四国にも生息するが, まだ正式な記録はないと思われる。

<採集データ>1♀, 上野市桂, 16. viii. 1996.

Euplectitae ナガアリヅカムシ上族

2. *Euplectus* sp. 1*

本属と次属 (*Euplectini* 族) は細長い体形と, 腹部第7節が他よりも大きいという特徴で識別することができる。

<採集データ>1♂, 関町観音山, 1. xi. 1992.

3. *E.* sp. 2*

<採集データ>1♂1♀, 美杉村平倉, 6. vi. 1992.

4. *Leptoplectus* sp. 1*

前属に似るが, 上唇前縁中央に扇形ないしは横長の湾入があることで区別されている。前属よりやや小型であることが多い。

<採集データ>1♀, 亀山市野登山, 6. ix. 1992.

5. *Pseudoplectus* sp. 1*

本属の体形は細長い, 腹部第7節は小さく, 腹部全体は尻すほみで終わる。非常に小型の種が多い。

<採集データ>1♀, 藤原町藤原岳, 28. vi. 1992; 1♀, 美杉村平倉, 6. vi. 1992.

6. *Aphilia longicollis* (JEANNEL) ホソヒメアリヅカムシ*

本州, 四国, 九州に分布し, 二次林の落葉などによくみられる。

<採集データ>1♂, 藤原町藤原岳, 5. v. 1992; 1♂, 同, 27. ix. 1992; 3♀, 美杉村平倉, 6. vi. 1992; 1♀, 同, 5. vi. 1993; 1♂, 同, 29. v. 1994; 1♀, 亀山市野登山, 6. ix. 1992; 3♀, 津市上浜町, 10. x. 1995.

7. *Bibloporus* sp. 1

<文献記録>一志郡美杉村平倉 (800-1,100m), (野村・秋田, 2007).

8. *Acetalius dubius* SHARP ハラフトアリヅカムシ

<採集データ>1♀, 藤原町藤原岳, 14. vi. 1992; 6♀, 一志郡美杉村平倉, 6. vi. 1992; 10♀, 同, 5. vi. 1993; 1♂11♀, 同, 28. v. 1994; 10♀, 大内山村南亦山, 17. vi. 1995; 1♂, 同米ヶ谷, 10. iv. 1994.

<文献記録>一志郡美杉村平倉 (800-1,100m), (野村・秋田, 2007).

9. *Philoscotus* sp. 1*

やや細長く点刻が細かい, *P. tenuis* NOMURA に似た種。中部から東北地方にかけて見られる。

<採集データ>1♀, 藤原町三国岳, 6. v. 1991; 2♀, 同藤原岳, 5. v. 1992; 1♀, 同坂本谷, 4. x. 1992; 3♀, 鈴鹿市小岐須溪谷, 10. xi. 1991; 1♂3♀, 亀山市野登山, 6. ix. 1992; 1♂, 大内山村南亦山, 10. iv. 1994; 1♂, 同, 17. vi. 1995.

<他県データ>2♂, 岐阜県蛭が野高原, 27. iv. 1995.

10. *Philoscotus persimilis* NOMURA*

大阪府箕面勝尾寺から記載された種で, 近畿地方ではまれでない。ナガオチバに似るがやや小型。

<採集データ>8♀, 藤原町坂本谷, 4. x. 1992; 1♀, 同白船峠, 5. ix. 1993; 4♀, 四日市市宮妻峡カズラ谷,

11. xi. 1990; 1♀, 上野市桂, 16. viii. 1996; 3♀, 美杉村平倉, 6. vi. 1992; 1♀, 南勢町鍛冶屋峠, 31. i. 1998; 1♀, 宮川村総門山, 14. xi. 1998.

11. *Philoscotus brevis* K. SAWADA マルガタオチバアリヅカムシ*

奈良県吉野山から記載された。頭部はナガオチバ、クチボソオチバのように前方へ伸長せず 卵型。九州、四国から東北地方にかけて普通に見られる。

<採集データ> 2♀, 藤原町藤原岳, 15. iv. 1992; 1♂3♀, 同, 27. ix. 1992; 1♀, 3. xi. 1992; 1♀, 同楯谷, 29. v. 1996; 4♀, 島ヶ原村奥村, 9. xii. 1995; 1♀, 同, 25. xi. 1996.

<他県データ> 2♀, 滋賀県多賀町霊仙山, 21. iii. 1993.

12. *Philoscotus* sp. 2*

前種に似るがやや小型。

<採集データ> 1♀, 北勢町川原越, 7. ix. 1991; 5♀, 藤原町藤原岳, 18. iv. 1992; 2♂2♀, 同, 14. vi. 1992; 2♀, 同, 28. vi. 1992; 2♀, 同, 3. ix. 1992; 1♀, 同三国岳, 6. vi. 1991; 1♀, 同コグルミ谷, 6. vi. 1991; 1♀, 同白船峠, 5. ix. 1993; 9♀, 同坂本谷, 4. x. 1992; 1♀, 大安町竜ヶ岳, 4. xi. 1995; 6♀, 菰野町御在所岳, 25. iv. 1992; 2♀, 同朝明, 2. xi. 1992; 1♀, 同八風中峠, 3. xi. 1991; 2♀, 同鎌ヶ岳, 15. v. 1993; 1♀, 四日市市雲母II峰, 3. iv. 1993; 4♀, 鈴鹿市小岐須溪谷, 10. xi. 1991; 2♀, 亀山市野登山, 3. xi. 1995; 1♀, 島ヶ原村奥村, 9. xii. 1995; 3♀, 美杉村平倉, 6. vi. 1992.

<他県データ> 1♂1♀, 滋賀県多賀町霊仙山, 21. iii. 1993; 5♀, 岐阜県根尾村半原谷, 6. ix. 1991; 1♀, 同, 16. ix. 1991.

13. *Philoscotus longulus* K. SAWADA ナガオチバアリヅカムシ

<採集データ> 2♂10♀, 藤原町藤原岳, 5. v. 1992; 9♀, 同, 21. vi. 1992; 1♀, 同, 28. vi. 1992; 1♀, 同, 3. ix. 1992; 3♀, 同タテ谷, 29. v. 1996; 2♀, 大安町竜ヶ岳, 21. x. 1995; 8♀, 菰野町尾高山, 28. x. 1995; 2♀, 同福王山, 7. xii. 1991; 3♀, 同八風中峠, 3. xi. 1991; 1♀, 同朝明伊勢谷, 24. xi. 2001; 3♀, 同切畑, 3. v. 1996; 1♀, 同鎌ヶ岳, 30. ix. 1995; 1♀, 四日市市雲母II峰, 3. iv. 1993; 1♀, 同宮妻峽カズラ谷, 11. xi. 1990; 2♀, 同, 27. xi. 1992; 2♀, 鈴鹿市小岐須溪谷, 10. xi. 1991; 4♀, 亀山市野登山, 6. ix. 1992; 8♀, 関町観音山, 1. xi. 1992; 1♀, 阿山町岩尾山, 21. xii. 1991; 2♀, 上野市御齊峠, 29. ix. 1996; 2♀, 島ヶ原村奥村, 19. ii. 1995; 2♀, 同, 25. ix. 1996; 2♀, 同三国越, 9. xii. 1995; 2♀, 名張市中知山, 7. i. 1996; 3♀, 伊勢市高麗広, 31. i. 1998; 1♀, 同, 16. i. 1999; 1♀, 宮川村迷岳, 5. x. 2002; 1♀, 南勢町鍛冶屋峠, 31. i. 1998; 4♀, 同剣峠, 31. i. 1998; 3♀, 尾鷲市九木崎, 1. vi. 1996; 3♀, 同須賀利, 13. i. 1996; 1♀, 熊野市楯ヶ崎, 29. xii. 2000; 1♀, 紀和町一族山, 7. vi. 1997.

<文献記録> 尾鷲市九木崎, (野村・秋田, 2007).

14. *Philoscotus sylvestris* NOMURA モリオチバアリヅカムシ

<文献記録> 一志郡美杉村平倉 (800-1,100m), (野村・秋田, 2007).

Batrisitae ムネトゲアリヅカムシ上族

15. *Batristilbus politus* (SHARP) エグリチイロアリヅカムシ

<採集データ> 1♀, 藤原町藤原岳, 28. vi. 1992; 1♂, 同コグルミ谷, 4. vii. 1993; 1♀, 菰野町雲母峰, 2. vi. 2000.

<文献記録> 一志郡美杉村平倉 (野村・秋田, 2007).

16. *Batrisodellus longulus* (JEANNEL) ナガムネトゲアリヅカムシ

<採集データ> 1♀, 四日市市水沢大谷, 5. vii. 1998; 1♂, 菰野町雲母峰, 2. vi. 2000; 1♀, 宮川村迷岳, 5. x. 2002.

<文献記録> 一志郡美杉村平倉 (野村・秋田, 2007).

17. *Batrisodellus laticollis* (JEANNEL) ツノブトゲアリヅカムシ

<文献記録> 一志郡美杉村平倉 (野村・秋田, 2007).

18. *Batrisodellus cristatus* (JEANNEL) トサカトゲアリヅカムシ

<文献記録> 一志郡美杉村平倉 (野村・秋田, 2007).

19. *Batrisodellus* sp. 1*

ツノブトヤトサカに似た種だが、これらにみられる雄の二次性徴がなく、雄交尾器の形状も異なる。

- <採集データ> 1♂, 上野市西高倉, 29. ix. 1996; 1♀, 大内山村南亦山, 6. v. 1995; 1♂, 尾鷲市三木崎, 29. iv. 1996.
20. *Batrisodes (Excavodes) caviceps* (SHARP) オサムネトゲアリヅカムシ
 <文献記録> 一志郡美杉村平倉 (野村・秋田, 2007).
21. *Batrisodes (Excavodes) sp. 1 (caviceps group)*
 <文献記録> 一志郡美杉村平倉 (550-900m), (野村・秋田, 2007).
22. *Batrisodes (Excavodes) sp. 2 (dorsalis group)*
 <採集データ> 1♂2♀, 藤原町藤原岳, 18. iv. 1992; 3♂1♀, 同, 5. ix. 1992; 1♂1♀, 同, 27. ix. 1992; 1♂1♀, 同, 3. xi. 1992; 1♂, 宮川村堂倉辻, 4. v. 1994.
 <他県データ> 5♂5♀, 滋賀県多賀町霊仙山, 21. iii. 1993.
 <文献記録> 一志郡美杉村平倉, 同 (550-900m), (野村・秋田, 2007).
23. *Batrisodes (Excavodes) rugicollis* (SHARP) ハコネトゲアリヅカムシ?
 本種は前報では, *B. sp. 3 (ornatifrons group)* となっていたが, 箱根および相州大山から記載された上記の種名を当てるべきと思われる。*B. ornatifrons group* は雄の前頭部に特徴的な二股の突起を生じる群で, 種間には軽微な差がある。北関東のものは中禅寺から記載された *B. ornatifrons*, 中部山岳のものは碓氷峠から書かれた *B. acutifrons* とすべきであろう。
 <採集データ> 3♀, 芸濃町小川内神社, 23. xii. 1995; 13♂6♀, 伊勢市剣峠, 10. i. 1998; 2♀, 同高麗広, 31. i. 1998; 4♂, 同, 16. i. 1999; 11♂12♀, 尾鷲市須賀利, 13. i. 1996; 1♂, 同ナサ崎, 7. x. 1995; 1♂1♀, 同, 3. xi. 1997; 1♂, 同三木崎, 3. xi. 1997; 1♂2♀, 熊野市二木島町, 13. iv. 2000; 1♂, 同桶ヶ崎, 12. xii. 1992; 1♀, 同, 18. iv. 1999.
 <文献記録> (*Batrisodes (Excavodes) sp. 3 (ornatifrons group)*) 伊勢市五十鈴川 (40-300m); 尾鷲市三木崎 (50-300m); 一志郡美杉村平倉, (野村・秋田, 2007)
24. *Batrisodes (Pubimodes) sp. 1*
 <文献記録> 一志郡美杉村平倉 (野村・秋田, 2007).
- ※*Batrisodes sp.*
 <他県データ> 1♀, 滋賀県多賀町霊仙山, 21. iii. 1993; 1♂1♀, 奈良県天川村弥山, 8. viii. 1998.
25. *Petaloscapus temporalis temporalis* JEANNEL エラハリムネトゲアリヅカムシ*
 本属は本州および九州から7種3亜種が知られるが, 雄交尾器の違いは明白であり, 3亜種のうち2亜種はそれぞれが別種であり, 9種1亜種と見てさしつかえない。未記載種も非常に多く, 全体で40種以上になると見込まれる。三重県からは以下に示す9種が認められ, うち7種が未記載であるが, 同所的に生息するものも多く, 種の識別は外見だけでは非常に困難である。雄は頭部前方側面が隆起し, 前頭部に特徴的な隆起をそなえ, 触角第1節内側が伸長して, 分泌毛斑をそなえるが, 厄介なことに種によってはこれだけの比較では区別できない。また♀個体だけでは種が特定できないことが多い。確実な同定は雄交尾器の解剖によらなければならない。本種は *P. fissifrons* の亜種として京都府瑞穂町から記載され, NOMURA (2001b) で再記載された。広く近畿地方に分布するが, これまで三重県および滋賀県からは未記録だった。
 <採集データ> 2♂1♀, 藤原町タテ谷, 25. x. 1997; 3♂, 同坂本谷, 29. viii. 1992; 3♂1♀, 同藤原岳, 27. ix. 1992; 2♂, 同, 28. vi. 2002; 1♂1♀, 同鈴北岳, 21. x. 1990; 1♂6♀, 菰野町朝明伊勢谷, 24. xi. 2001; 1♂1♀, 同, 2. xi. 1992; 1♂, 同鎌ヶ岳, 15. v. 1993; 1♂, 同, 28. viii. 1993; 5♂4♀, 亀山市野登山, 23. xi. 1992; 16♂11♀, 同, 3. xi. 1995; 3♂1♀, 同, 30. iv. 1999; 1♂1♀, 上野市諏訪, 29. ix. 1996.
 <他県データ> 1♂, 滋賀県多賀町霊仙山, 21. iii. 1993; 1♂1♀, 奈良県天川村弥山, 8. viii. 1998; 1♂1♀, 同上北山村和佐又山, 10. vii. 1999.
26. *Petaloscapus hirsutus* TANOKUCHI ハママツヒゲブトムネトゲアリヅカムシ
 <採集データ> 18♂24♀, 津市上浜町, 10. x. 1995; 1♂2♀, 松阪市大阿坂町阿射加神社, 13. ii. 1993; 1♂5♀, 同, 26. ii. 1993; 1♂1♀, 同小阿坂町阿射加神社, 26. ii. 1993; 1♂, 度会町獅子ヶ岳, 7. ii. 1997; 1♂1♀, 南勢町剣峠, 31. i. 1998; 3♂2♀, 同鍛冶屋峠, 31. i. 1998; 5♂3♀, 同押淵, 4. xi. 1994; 1♂1♀, 同, 13. iii. 1994; 1♂, 南島町能見峠, 11. x. 1993.

<文献記録>久居市戸木敏太神社 (25m) (野村・秋田, 2007).

27. *Petaloscopus* sp. 1 (1W)*

本属は東日本において他の属とは異なる非常に珍しい分布パターンを示す。すなわち、本州脊梁山地を境にして、日本海側と太平洋側で分布する種が異なるのである。本種はその日本海側に産する種で、青森県の日本海側を起点に(秋田県では記録がない)、山形、新潟、長野県は松本市付近まで、富山、石川、福井県を経て近畿地方へ達している。北陸地方以西でも、福井、岐阜、京都、大阪、鳥取と日本海岸に沿って分布するが、三重県内での本種の分布は例外的に太平洋岸に達している。雄交尾器の形状は、近畿、東海、北陸地方に産するものは、東北地方北部に産するものと若干異なる。

<採集データ>1♂, 藤原町御池岳, 6. v. 1990; 1♂, 同藤原岳, 27. ix. 1992; 1♂, 同坂本谷, 29. viii. 1992; 2♂1♀, 大安町竜ヶ岳, 7. xi. 1998; 1♂, 同, 4. xi. 1995; 3♂2♀, 四日市市雲母II峰, 3. iv. 1993; 2♂1♀, 同宮妻峽カズラ谷, 27. xi. 1992; 2♂, 菰野町尾高県民の森, 18. xii. 2001; 3♂1♀, 同, 29. xi. 2001; 2♂1♀, 同湯ノ山, 5. i. 1997; 3♂3♀, 同切畑牧場跡, 7. xii. 1991; 4♂4♀, 同尾高山, 28. x. 1995; 1♂1♀, 同御在所岳, 25. iv. 1992; 2♂2♀, 鈴鹿市小岐須溪谷, 10. xi. 1991; 1♂1♀, 鳥ヶ原村三国越, 9. xii. 1995; 4♂2♀, 同三国林道, 9. xii. 1995; 3♂3♀, 同奥村, 19. xi. 1995; 1♂, 上野市西高倉, 2. vii. 1995; 1♀, 同, 29. ix. 1995; 1♂1♀, 同依那具住吉神社, 7. xi. 2002; 3♂4♀, 白山町四季の里, 23. ix. 1991.

28. *Petaloscopus* sp. 2 (6W)

<採集データ>2♂, 美杉村平倉, 6. vi. 1992; 1♂4♀, 同, 16. viii. 1992; 1♂, 同, 5. vi. 1993.

<文献記録>一志郡美杉村平倉 (550-900m); 同 (800-1,100m) (野村・秋田, 2007).

29. *Petaloscopus* sp. 3 (15W)*

本種以下5種は今回初めて発見されたもので、三重県以外からは見つかっていない。分布域が非常にせまい種と考えられる。

<採集データ>2♂, 藤原町藤原岳, 21. vi. 1992; 1♂, 同, 5. v. 1992; 1♂3♀, 伊勢市高麗広, 10. i. 1998; 1♂2♀, 同, 16. i. 1999; 7♂1♀, 同剣峠, 10. i. 1998; 1♂3♀, 磯部町逢坂峠, 17. iv. 1993; 1♂, 白山町布引の森, 4. viii. 1991.

30. *Petaloscopus* sp. 4 (16W)*

<採集データ>1♂, 宮川村迷岳, 15. vi. 2000.

31. *Petaloscopus* sp. 5 (17W)*

<採集データ>2♂1♀, 大内山村米ヶ谷, 10. iv. 1994; 1♂, 同南亦山, 10. iv. 1994; 1♂3♀, 大宮町藤越, 14. iii. 1996; 1♂, 宮川村仙千代ヶ峰, 2. ix. 1995; 1♂, 同迷岳, 7. x. 2000; 2♂, 同, 5. x. 2000; 1♂, 紀伊長島町豊浦神社, 13. i. 1996; 2♂, 尾鷲市須賀利, 13. i. 1996.

32. *Petaloscopus* sp. 6 (18W)*

<採集データ>1♂2♀, 紀和町布引の滝, 25. v. 1996; 3♂, 同木津呂, 26. v. 1996.

33. *Petaloscopus* sp. 7 (19W)*

<採集データ>1♂, 尾鷲市三木崎, 25. xi. 1995; 1♀, 熊野市楯ヶ崎, 12. xii. 1992; 2♂1♀, 同, 28. ii. 1998; 2♂, 同, 30. i. 2000; 1♀, 29. xii. 2000; 2♂1♀, 同, 10. i. 2002.

※*Petaloscopus* sp.

<採集データ>1♀, 藤原町藤原岳, 14. vi. 1992; 3♀, 同, 5. v. 1992; 2♀, 同, 28. vi. 1992; 1♀, 同, 3. ix. 1992; 8♀, 同, 27. ix. 1992; 2♀, 同, 22. x. 1995; 1♀, 同コグルミ谷, 6. v. 1990; 2♀, 同タテ谷, 29. v. 1995; 1♀, 同, 27. v. 1995; 2♀, 同三国岳, 6. v. 1991; 2♀, 同白船峠, 5. ix. 1993; 1♀, 大安町竜ヶ岳, 4. xi. 1995; 2♀, 同, 21. x. 1995; 1♀, 同, 7. x. 1998; 3♀, 四日市市鎌ヶ岳, 30. ix. 1995; 1♀, 菰野町田口, 14. iv. 1996; 1♀, 同, 6. v. 1996; 1♀, 青山町阿保, 6. xi. 1993; 1♀, 同霧生, 6. xi. 1993; 2♀, 宮川村迷岳, 5. x. 2002; 1♀, 同, 15. vi. 2000; 2♀, 同, 7. x. 2000; 3♀, 阿山町桜峠, 7. xii. 1996; 1♀, 鳥ヶ原村奥村, 25. xi. 1996; 1♀, 南島町棚橋竈, 4. ii. 1996; 1♀, 浜島町塩鹿浜, 17. iv. 1993; 1♀, 伊勢市剣峠, 30. i. 1995; 1♀, 尾鷲市九木崎, 12. ii. 1996; 5♀, 同須賀利, 13. i. 1996; 1♀, 鶴殿村防風林, 13. xii. 1992.

<文献記録>津市片田井戸町 (80m) (野村・秋田, 2007).

34. *Tribasodes* sp. 1

<文献記録>美杉村平倉(野村・秋田, 2007).

35. *Batrisoschema* sp. 1*

本属は朽木などから発見されるもので、*B. euplectiforme* (SHARP) クチキムネトゲなどが知られるが、本種は雌1個体のみのため、種が特定できない。

<採集データ>1♀, 尾鷲市九木崎, 1. vi. 1996.

36. *Batriscenellus* (*Scaioscenellus*) *similis* (SHARP) アナバラアリヅカムシ*

よく茂った自然林の落葉中に発見される種で、近畿、中部、関東地方では少なくない。

<採集データ>1♂, 宮川村迷岳, 1. vii. 2000.

※ *Batriscenellus* sp.

<他県データ>2♀, 岐阜県蛭が野高原, 27. iv. 1996.

37. *Batriscenaulax longipes longipes* JEANNEL ナガスネアリヅカムシ

<採集データ>10♂, 藤原町坂本谷, 22. ii. 1992; 5♂, 大安町竜ヶ岳, 7. xi. 1998; 1♂, 津市上浜町, 10. x. 1995; 2♂, 松阪市小阿坂町阿射加神社, 26. ii. 1993; 1♂, 大王町船越, 22. v. 1994; 1♂, 尾鷲市須賀利, 13. i. 1996.
<文献記録>尾鷲市三木崎(50-300m)(野村・秋田, 2007).

38. *B. modestus* (SHARP) ハケスネアリヅカムシ*

前種によく似るが、雄の前脚けい節先端 1/3 付近に膨大部があり、その上面に毛筆器をそなえる。*B. furuhatai* (KUBOTA) は本種の異名。

<採集データ>2♂, 上野市桂, 16. viii. 1996; 1♂, 大内山村米ヶ谷, 10. iv. 1994; 1♂, 尾鷲市須賀利, 13. i. 1996.

※ *Batrisceneulax* sp.

<採集データ>1♀, 藤原町藤原岳, 21. vi. 1992; 1♀, 同, 4. vii. 1992; 8♀, 同坂本谷, 7. xi. 1998; 2♀, 大安町竜ヶ岳, 7. xi. 1998; 1♀, 大内山村米ヶ谷, 10. iv. 1994; 1♀, 松阪市小阿坂町阿射加神社, 26. ii. 1993; 2♀, 熊野市楯ヶ崎, 10. i. 2002.

39. *Arthromelodes gyoja* NOMURA ギョウジャヒサゴアリヅカムシ

<文献記録>美杉村平倉; 同(550-900m)(野村・秋田, 2007).

40. *Batrisцениоla dissimilis* (SHARP) アナズアリヅカムシ

<採集データ>8♂1♀, 藤原町藤原岳, 18. iv. 1992; 4♂5♀, 同, 5. v. 1992; 1♂2♀, 同, 21. vi. 1992; 3♂2♀, 同, 28. vi. 1992; 1♂2♀, 同, 3. ix. 1992; 1♀, 同, 27. ix. 1992; 1♀, 同三国岳, 6. v. 1991; 1♂2♀, 同坂本谷, 29. viii. 1992; 3♂2♀, 菰野町雲母II峰, 3. iv. 1993; 3♂, 同雲母II峰, 同日; 3♂1♀, 同湯ノ山, 5. i. 1997; 2♂3♀, 同切畑, 3. v. 1996; 1♂1♀, 同, 8. iv. 1999; 2♀, 同福王山, 7. xii. 1991; 1♂1♀, 同尾高県民の森, 29. xi. 2001; 1♀, 同尾高山, 28. x. 1995; 1♂6♀, 同田口, 14. iv. 1996; 1♂, 鈴鹿市小岐須溪谷, 10. xi. 1991; 1♂, 亀山市野登山, 23. xi. 1992; 3♀, 同, 3. xi. 1995; 1♀, 関町観音山, 1. xi. 1992; 2♂3♀, 美杉村平倉, 6. vi. 1992; 1♂1♀, 同, 16. viii. 1992; 2♀, 同, 5. vi. 1993; 1♂2♀, 阿山町岩尾山, 21. xii. 1991; 2♀, 同神山, 21. xii. 1991; 8♂11♀, 芸濃町伊賀越, 23. xii. 1995; 2♂3♀, 同小川内神社, 同日; 1♂, 上野市高倉神社, 28. ix. 1996; 1♂3♀, 同諏訪, 29. ix. 1996; 1♂, 島ヶ原村奥村, 25. xi. 1996; 1♀, 松阪市伊勢寺町瑞巖寺, 26. ii. 1993; 1♂1♀, 伊勢市高麗広, 31. i. 1998; 1♀, 南島町古和浦, 4. ii. 1996; 1♀, 南勢町押淵, 13. iii. 1994; 1♂, 宮川村迷岳, 15. vi. 2000; 尾鷲市九木崎, 12. ii. 1996; 1♀, 熊野市楯ヶ崎, 28. ii. 1998; 1♂, 同, 29. xii. 2000.

<他県データ>2♂2♀, 滋賀県多賀町霊仙山, 21. iii. 1993.

<文献記録>一志郡美杉村平倉; 同(550-900m); 同(800-1,100m); 同(600m)(野村・秋田, 2007).

Goniaceritae オノヒゲアリヅカムシ上族

41. *Tenguobythus nasalis* ARAI et NOMURA テンゲアリヅカムシ*

ごく最近, ARAI and NOMURA (2007) によって下記の記録がバラタイプの一部として記録された。宮城県秋保から太平洋岸に沿って本州、四国、九州の南半部に分布し、関東南部などでは個体数が多い。雄の前頭部には和名のとおり、大きな隆起部がある。

<採集データ>1♂2♀, 紀伊長島町豊浦神社, 13. i. 1996.

42. *Morana discedens* SHARP マメアリヅカムシ*

照葉樹林の落葉中から最も普通に採集されるアリヅカムシの一種。

<採集データ>1♂, 藤原町藤原岳, 5. v. 1992; 3♀, 同, 21. vi. 1992; 2♂, 大安町竜ヶ岳, 7. xi. 1998; 14♂
34♀, 津市上浜町, 10. x. 1995; 1♂, 上野市外山, 19. x. 1996; 1♂2♀, 白山町四季の里, 23. ix. 1991; 3♂,
松阪市小阿坂町阿射加神社, 26. ii. 1993.

43. *Morana elegans* TANOKUCHI トウカイマメアリヅカムシ*

前種に似るが, 分布はやや局地的で, 本州, 四国の太平洋岸に限定される傾向がある。

<採集データ>1♂, 熊野市産田神社, 26. ix. 1993; 3♂, 紀和町木津呂, 26. v. 1996.

44. *Takaorites* sp. 1

<文献記録>一志郡美杉村平倉 (600m) (野村・秋田, 2007)。

45. *Takaorites* sp. 2*

<採集データ>1♂1♀, 藤原町藤原岳, 14. vi. 1992; 2♂2♀, 同, 28. vi. 1992; 1♂, 同, 29. viii. 1992; 9♂5♀,
同, 3. ix. 1992; 12♂11♀, 同, 27. ix. 1992; 4♂5♀, 同, 3. xi. 1992; 2♂, 同坂本谷, 29. viii. 1992; 1♀, 同,
4. x. 1992; 2♂4♀, 同タテ谷, 29. v. 1996; 2♂, 菰野町雲母峰, 3. iv. 1993.

46. *Takaorites* sp. 3*

<採集データ>1♂1♀, 宮川村堂倉辻, 4. v. 1994.

47. *Takaorites* sp. 4*

<採集データ>1♀, 藤原町タテ谷, 29. v. 1996.

48. *Takaorites* sp. 5*

<採集データ>2♂1♀, 紀伊長島町豊浦神社, 13. i. 1996.

※*Takaorites* sp.

<他県データ>2♀, 滋賀県多賀町霊仙山, 21. iii. 1993.

49. *Triomicrus protervus* (SHARP) マルムネアリヅカムシ

<採集データ>1♂, 藤原町藤原岳, 22. x. 1995; 1♂, 大安町竜ヶ岳, 21. x. 1995; 2♀, 菰野町田口, 14. iv.
1996; 1♂, 同, 6. v. 1996; 1♂3♀, 阿山町桜峠, 7. xii. 1996; 1♀, 上野市桂, 16. viii. 1996; 1♀, 同諏訪丸柱,
20. x. 1996; 1♂, 大内山村南赤山, 10. iv. 1994; 1♂, 南勢町押淵, 13. iii. 1994; 2♂1♀, 尾鷲市桃頭島, 4. v.
1996; 1♂1♀, 同九木崎, 12. ii. 1996; 1♀, 熊野市榎ヶ崎, 28. ii. 1998.

<文献記録>尾鷲市九木崎; 久居市戸木敏太神社 (25m); 員弁郡員弁町市之原; 同 (550-900m) (野村・秋田, 2007)。

50. *Triomicrus subraevis* RAFFRAY スベマルムネアリヅカムシ

<文献記録>美杉村平倉 (550-900m) (野村・秋田, 2007)。

51. *Prosthecarthron sauteri* RAFFRAY アシベアリヅカムシ

<文献記録>櫛田川河口 (河上, 2002); 松阪市松名瀬 (櫛田川河口) (野村・秋田, 2007)。

52. *Trissemus alienus* (SHARP) ナミエンマアリヅカムシ

<採集データ>1♂, 海山町島勝, 7. vi. 1997.

<文献記録>美杉村平倉 (野村・秋田, 2007)。

※*Trissemus* sp.

<採集データ>1♀, 伊勢市高麗広, 16. i. 1999.

53. *Bryaxis harmandi* RAFFRAY アルマンオノヒゲアリヅカムシ*

東北地方から関東, 中部を経て, 三重県まで分布する。以下の記録が西限になると思われる。中型種で, 前胸背の
点刻が細かく疎らで, 光沢のあることが特徴である。

<採集データ>2♂8♀, 藤原町藤原岳, 3. ix. 1992; 1♀, 同, 5. ix. 1992; 1♂5♀, 同, 28. vi. 2002.

54. *Bryaxis heian* LÖBL et al. ハイアンオノヒゲアリヅカムシ*

B. japonicus ヤマトオノヒゲに似たやや小型の種で, 草原に生息する。火山性草原や湿原, 河川に付随する草地に
も見られ, 生息密度が高い。

<採集データ>1♂, 藤原町藤原岳, 14. vi. 1992; 2♀, 同, 3. ix. 1992; 4♂5♀, 大安町竜ヶ岳, 7. xi. 1998; 1♂1♀, 鈴鹿市住吉町住吉神社, 25. ii. 2004; 2♂3♀, 亀山市三寺町石神社, 21. i. 2004; 1♂4♀, 鶴殿村防風林, 13. xii. 1992.

55. *Bryaxis subseriatus* (WEISE) ナガオノヒゲアリヅカムシ

<採集データ>1♂2♀, 藤原町藤原岳, 18. iv. 1992; 2♂, 同, 3. ix. 1992; 1♂, 同, 27. ix. 1992; 1♂, 同, 28. vi. 2002; 1♂, 同坂本谷, 29. viii. 1992; 1♀, 同白船峠, 5. ix. 1993; 1♂, 芸濃町小川内神社, 23. xii. 1995; 1♂2♀, 美杉村平倉, 6. vi. 1992; 1♀, 宮川村総門山, 14. xi. 1998.

<他県データ>3♀, 滋賀県多賀町霊仙山, 21. iii. 1993.

<文献記録>一志郡美杉村平倉 (550-900m) (野村・秋田, 2007).

56. *Bryaxis sauteri* RAFFRAY ザウターオノヒゲアリヅカムシ

<採集データ>2♂5♀, 藤原町藤原岳, 21. vi. 1992; 1♀, 同, 18. iv. 1992; 5♀, 同, 5. v. 1992; 1♂1♀, 菰野町鎌ヶ岳, 15. v. 1993; 1♂2♀, 鈴鹿市小岐須溪谷, 23. xi. 1992; 2♀, 亀山市野登山, 2. iv. 2001; 3♀, 芸濃町小川内神社, 23. xii. 1995; 1♀, 同伊賀越, 23. xii. 1995; 1♂, 伊賀町柘植, 6. xi. 1993; 1♂, 鳥ヶ原村奥村, 19. xi. 1995; 2♀, 美杉村平倉, 6. vi. 1992; 1♂, 同, 16. viii. 1992; 2♂, 宮川村迷岳, 7. x. 2000; 1♀, 伊勢市高麗広, 10. i. 1998; 2♀, 浜島町塩鹿浜, 17. iv. 1993; 1♂, 大宮町古屋, 3. xi. 1997; 1♀, 南島町仙宮神社, 11. ii. 1997; 1♂, 同能見峠, 11. x. 1993; 3♀, 同藤坂峠, 14. iii. 1996; 1♀, 同棚橋竈, 4. ii. 1996; 3♂1♀, 紀伊長島町三戸, 9. ii. 1992; 2♀, 海山町本町, 13. xii. 1992; 1♀, 尾鷲市ナサ崎, 5. i. 1993; 2♀, 同, 7. x. 1995; 1♂1♀, 同, 3. xi. 1997; 1♀, 同三木崎, 17. xii. 1994; 1♂1♀, 同, 25. xi. 1995; 1♀, 同九木崎, 12. ii. 1996; 3♂7♀, 熊野市楯ヶ崎, 12. xii. 1992; 3♂3♀, 同, 28. ii. 1998; 1♀, 同, 30. i. 2000; 6♀, 同, 29. xii. 2000; 1♀, 同, 10. i. 2002; 1♀, 同二木島町, 13. iv. 2000; 1♀, 紀和町布引の滝, 25. v. 1996; 1♀, 同一族山, 7. vi. 1997.

<他県データ>1♂, 岐阜県根尾村半原谷, 6. ix. 1991; 3♂, 同, 16. ix. 1991.

<文献記録>尾鷲市三木崎 (50-300m); 一志郡美杉村平倉; 同 (550-900m); 同 (800-1,100m); 同 (600m)

(野村・秋田, 2007).

57. *Bryaxis sparsepunctatus* JEANNEL コブオノヒゲアリヅカムシ*

本種と次種では, 雄の触角第1節が膨大し, 上面に小さな突起した分泌口をそなえる. 本種は次種よりわずかに大型で, 雄交尾器は非常に特徴的な形状を持つ.

<採集データ>1♀, 藤原町タテ谷, 25. x. 1997; 1♂3♀, 同白船峠, 5. ix. 1993; 1♀, 同, 3. ix. 1994; 2♂2♀, 同藤原岳, 18. iv. 1992; 1♂1♀, 同, 5. v. 1992; 1♀, 同, 14. vi. 1992; 2♂, 同, 4. vii. 1992; 2♀, 同, 3. ix. 1992; 1♂, 同, 27. ix. 1992; 1♂2♀, 同, 28. vi. 2002; 1♀, 同坂本谷, 29. viii. 1992; 2♂, 同, 4. x. 1992; 1♂, 菰野町鎌ヶ岳, 1. v. 1993; 1♀, 同尾高県民の森, 15. iv. 2002; 1♀, 亀山市野登山, 23. xi. 1992; 2♂, 同, 3. xi. 1995; 1♂, 同, 21. iii. 2001; 1♂3♀, 伊勢市高麗広, 10. i. 1998; 1♀, 同, 16. i. 1999; 1♀, 同剣峠, 10. i. 1998; 1♂3♀, 磯部町逢坂峠, 17. iv. 1993; 1♂, 南島町藤坂峠, 14. iii. 1996; 1♂, 大宮町藤越, 14. iii. 1996; 1♀, 宮川村迷岳, 15. vi. 2000; 1♂1♀, 大内山村米ヶ谷, 10. iv. 1994; 1♂, 紀和町布引の滝, 25. v. 1996.

58. *Bryaxis mayumi* LÖBL et al. マユミオノヒゲアリヅカムシ*

本種はおそらく三重県に産する本属の中で最も小型である. 九州では本種に非常によく似た未記載種が同所的に発見されており, 三重県でも近似の未記載種が存在する可能性はあるので, 注意が必要であろう.

<採集データ>1♀, 藤原町藤原岳, 18. iv. 1992; 2♂2♀, 同, 5. v. 1992; 1♂, 同, 14. vi. 1992; 5♂5♀, 同, 21. vi. 1992; 4♂2♀, 同, 3. ix. 1992; 1♂, 同, 5. ix. 1992; 3♀, 同, 28. vi. 2002; 1♂1♀, 同坂本谷, 22. ii. 1992; 3♀, 同, 4. x. 1992; 1♂1♀, 同白船峠, 5. ix. 1993; 3♂6♀, 菰野町雲母峰, 3. iv. 1993; 2♂, 同湯ノ山, 5. i. 1997; 2♂1♀, 鈴鹿市小岐須溪谷, 23. xi. 1992; 1♀, 白山町四季の里, 23. ix. 1991; 1♀, 伊勢市剣峠, 10. i. 1998; 1♂2♀, 同高麗広, 15. i. 2000; 4♂1♀, 磯部町逢坂峠, 17. iv. 1993; 1♀, 度会町獅子ヶ岳, 7. ii. 1999; 1♀, 尾鷲市三木崎, 17. xii. 1994; 3♂2♀, 同, 25. xi. 1995; 2♀, 同, 29. iv. 1996; 1♂, 同桃頭島, 4. v. 1996; 1♂, 同ナサ崎, 5. i. 1993; 4♂1♀, 同, 7. x. 1995; 7♂14♀, 熊野市楯ヶ崎, 12. xii. 1992; 1♂2♀, 同, 28. ii. 1998; 2♂, 同, 15. iv. 1999; 4♂3♀, 同, 30. i. 2000; 1♂2♀, 同, 29. xii. 2000.

59. *Bryaxis reversus* SHARP ミフシオノヒゲアリヅカムシ*

長崎から記載された大型種で、雄は触角の先端3節が膨大すること、雌雄の小顎肢末端節はオノ型（包丁型）ではなく、短い米粒型ないしは長球形であることで、他と区別できる。

＜採集データ＞1♂, 藤原町藤原岳, 27. ix. 1992.

60. *Bryaxis* sp. 1*

サムライオノヒゲに似た大型種で、雄の触角第2節が膨大し、分泌口は著しく突出する。

＜採集データ＞1♂, 藤原町藤原岳, 27. ix. 1992; 1♂, 菰野町田口, 14. iv. 1996; 2♂, 同田光, 22. iv. 1996; 1♂, 宮川村堂倉辻, 4. v. 1994.

※ *Bryaxis* sp.

＜採集データ＞1♀, 白山町四季の里, 23. ix. 1991; 1♀, 伊勢市高麗広, 10. i. 1998; 南勢町剣峠, 15. i. 2000; 1♀, 熊野市榎ヶ崎, 30. i. 2000.

61. *Bythoxenites* sp. 1

＜文献記録＞一志郡美杉村平倉 (550-900m); (600m) (野村・秋田, 2007).

62. *Bythoxenites* sp. 2

＜文献記録＞員弁郡藤原町篠立の風穴 (野村・秋田, 2007).

63. *Bythoxenites* sp. 3*

＜採集データ＞1♂?, 宮川村堂倉辻, 4. v. 1994.

64. *Tychus dichotomus* NOMURA et LEE タイリクモリアリヅカムシ*

海岸の松林や二次林などに見られるが多くない。本州、九州に局地的に分布する。

＜採集データ＞3♀, 鈴鹿市国府町三宅神社, 12. i. 2004; 1♂3♀, 津市上浜町, 10. x. 1995; 1♀, 宮川村迷岳, 15. vi. 2000.

＜他県データ＞1♀, 岐阜県高鷲町蛭ヶ野高原, 27. iv. 1996.

65. *Hyugatychus teizonagatomo* NOMURA ヒユウガモリアリヅカムシ

＜文献記録＞尾鷲市三木崎 (50-300m) (野村・秋田, 2007).

66. *Tainochus insulicola* (NOMURA et LEE) シマムクゲアリヅカムシ

＜採集データ＞1♂, 藤原町藤原岳, 14. vi. 1992; 1♀, 大安町竜ヶ岳, 4. xi. 1995; 1♀, 同, 7. xi. 1998; 1♂1♀, 菰野町田口, 14. iv. 1996; 1♂, 四日市市宮指路岳, 10. xi. 1991; 1♂, 鈴鹿市小岐須溪谷, 23. xi. 1992; 1♀, 阿山町桜峠, 7. xii. 1996; 1♂, 白山町布引の森, 4. viii. 1991; 1♀, 美杉村平倉, 16. viii. 1992; 1♂, 大宮町藤坂峠, 14. iii. 1996; 1♀, 宮川村迷岳, 7. x. 2000; 1♀, 尾鷲市三木崎, 25. xi. 1995; 1♀, 熊野市榎ヶ崎, 10. i. 2002.

＜文献記録＞尾鷲市三木崎 (50-300m); 一志郡美杉村平倉 (600m) (野村・秋田, 2007).

Pselaphitae ヒゲナガアリヅカムシ上族

67. *Pselaphogenius tridentatus tridentatus* K. SAWADA タカネヒゲナガアリヅカムシ*

本属は地理的に特異な分布パターンを示すことが知られる。本種は北関東の高地、富士山伊豆半島などの高標高地に産し、飛んで滋賀県伊吹山や京都市広河原から記録されている。本県から記録されるのは初めてで、分布域は鈴鹿山脈に限られている。藤原町榎谷のような混棲地もみられるが、菰野町以南には次種しか分布していないようである。本種と次種は非常に近縁である。

＜採集データ＞2♂8♀, 藤原町三国岳, 6. v. 1991; 1♂, 同坂本谷, 4. x. 1992; 1♂, 同鞍掛峠, 7. ix. 1991; 1♂, 同タテ谷, 25. x. 1997; 1♂1♀, 大安町竜ヶ岳, 23. x. 1993; 1♂4♀, 同, 21. x. 1995; 1♂6♀, 同, 4. xi. 1995.

68. *Pselaphogenius spinifer spinifer* K. SAWADA トゲヒゲナガアリヅカムシ

＜採集データ＞1♂4♀, 藤原町タテ谷, 29. v. 1990; 1♀, 菰野町鎌ヶ岳, 15. v. 1993; 1♂4♀, 四日市市鎌ヶ岳, 30. ix. 1995; 2♀, 亀山市野登山, 23. xi. 1992; 1♂, 同, 3. xi. 1995; 1♂, 度会町獅子ヶ岳, 7. ii. 1999; 1♂, 南勢町剣峠, 20. i. 2000; 1♂, 大宮町藤越, 14. iii. 1996.

＜文献記録＞一志郡美杉村平倉 (800-1,100m) (野村・秋田, 2007).

※ *Pselaphogenius* sp.

＜採集データ＞2♀, 白山町布引の森, 4. viii. 1991; 2♀, 美杉村平倉, 5. vi. 1993; 1♀, 宮川村堂倉辻, 4. v.

1994; 1♀, 同迷岳, 5. x. 2002; 1♀, 大内山村南亦山, 10. iv. 1994; 1♀, 同米ヶ谷, 同日.

69. *Pselaphus* ? sp. 1 *

本種は頭部がやや幅広く、背面が広くくぼむことで、典型的な *Pselaphogenius* 属から区別されるが、非常に近縁な群である。おそらく南アルプスから日光山地にかけて局地的に分布する種と同一と思われる。

<採集データ> 1♀, 伊勢市高麗広, 16. i. 1999; 1♀, 同剣峠, 同日; 2♀, 磯部町逢坂峠, 17. iv. 1993; 1♀, 大宮町古屋, 3. xi. 1997; 1♀, 同藤越, 14. iii. 1996.

70. *Tyrus* sp. 1

<採集データ> 1♂3♀, 松阪市小阿坂町阿射加神社, 26. ii. 1993; 1♂, 宮川村迷岳, 5. x. 2002; 1♂, 尾鷲市三木崎, 8. vii. 1995.

<文献記録> 尾鷲市三木崎 (50-300m) (野村・秋田, 2007).

71. *Tyrus* sp. 2 *

前種に似るが明らかに小型である。

<採集データ> 1♀, 浜島町塩鹿浜, 17. iv. 1993.

72. *Raphitreus speratus* (SHARP) ヒゲブトエクボアリヅカムシ

<採集データ> 1♀, 菰野町伊勢谷, 24. xi. 2001; 1♂2♀, 上野市外山, 19. x. 1996; 1♂, 同, 1. iv. 2002; 3♂, 同諏訪, 28. ix. 1996; 1♂, 同依那具, 1. iv. 2002; 1♀, 青山町上出, 6. xi. 1993; 2♂6♀, 河芸町三行, 24. iv. 1994; 6♂5♀, 松阪市小阿坂町阿射加神社, 26. ii. 1993; 2♂, 美杉村平倉, 16. viii. 1992; 1♀, 鳥羽市神島, 15. vii. 1995; 1♂, 宮川村迷岳, 5. x. 2002; 1♂, 尾鷲市三木崎, 25. xi. 1995; 2♂1♀, 同, 3. xi. 1997; 1♂1♀, 同ナサ崎, 7. x. 1995; 1♀, 熊野市楯ヶ崎, 29. xii. 2000.

<文献記録> 尾鷲市三木崎 (50-300m); 久居市戸木敏太神社 (25m); 一志郡美杉村平倉 (550-900m) (野村・秋田, 2007).

73. *Lasinus monticola* K. SAWADA ヤマオオトゲアリヅカムシ

<採集データ> 1♀, 菰野町田口, 14. iv. 1996; 1♀, 同雲母峰, 2. vi. 2000; 2♀, 青山町阿保, 6. xi. 1993; 1♂, 上野市諏訪, 28. ix. 1996; 1♂, 伊勢市剣峠, 10. i. 1998; 1♂3♀, 同, 16. i. 1999; 2♀, 南島町藤坂峠, 14. iii. 1996; 1♂1♀, 同古和浦, 4. ii. 1996; 2♂, 美杉村平倉, 6. vi. 1992; 1♀, 宮川村総門山, 14. xi. 1998; 1♂, 同迷岳, 5. x. 2002; 2♂3♀, 紀伊長島町三戸第一発電所, 9. ii. 1992; 1♂2♀, 同三浦高塚公園, 同日; 1♂, 高塚公園, 13. iv. 1996; 1♂1♀, 同豊浦神社, 13. i. 1996; 1♀, 尾鷲市桃頭島, 4. v. 1996; 3♀, 同ナサ崎, 5. i. 1993; 2♀, 同, 3. xi. 1997; 1♂1♀, 同須賀利, 13. i. 1996; 2♂4♀, 同三木崎, 25. xi. 1995; 1♀, 同, 3. xi. 1997; 1♂9♀, 同九木崎, 12. ii. 1996; 1♀, 熊野市楯ヶ崎, 13. iv. 2000; 1♂2♀, 同, 10. i. 2002.

<文献記録> 尾鷲市三木崎 (50-300m); 同九木崎; 一志郡美杉村平倉 (550-900m) (野村・秋田, 2007).

74. *Lasinus* sp. 1

<採集データ> 1♀, 藤原町藤原岳, 21. vi. 1992; 1♀, 同, 3. ix. 1992; 1♂, 同, 5. ix. 1992; 6♂1♀, 大安町竜ヶ岳, 7. xi. 1998; 4♂4♀, 菰野町田口, 6. v. 1996; 1♂, 同雲母峰, 2. vi. 2000; 1♀, 四日市市宮妻峽, 5. iv. 1998; 1♂, 関町観音山, 1. xi. 1992; 1♂, 阿山町神山, 21. xii. 1991; 1♂, 同岩尾山, 同日; 1♂, 上野市外山, 19. x. 1996; 1♂, 同諏訪, 29. ix. 1995; 1♀, 鳥ヶ原村三国林道奥村, 9. xii. 1995; 1♀, 白山町四季の里, 23. ix. 1991; 4♀, 松阪市大阿坂町阿射加神社, 13. ii. 1993; 4♂3♀, 同, 26. ii. 1993; 1♂2♀, 飯高町蓮ダム, 10. xii. 1994; 1♂, 美杉村平倉, 5. vi. 1993; 1♀, 同伊勢寺町瑞巖寺, 26. ii. 1993; 1♂, 南勢町押淵, 13. iii. 1994; 1♂, 大宮町古屋, 3. xi. 1997; 1♂, 尾鷲市九木崎, 12. ii. 1996; 1♂, 熊野市楯ヶ崎, 10. i. 2002.

<文献記録> 尾鷲市三木崎 (50-300m); 久居市戸木敏太神社 (25m); 員弁郡員弁町市之原; 一志郡美杉村平倉 (550-900m); 名賀郡青山町西青山 (350-450m) (野村・秋田, 2007).

75. *Labomimus reitteri* SHARP アシナガアリヅカムシ *

箱根から記載された種で関東地方の山地に普通。以下の記録は本種の西限にあたると思われる。

<採集データ> 1♂, 亀山市野登山, 2. iv. 2001.

76. *Labomimus* sp. 1

<採集データ> 1♀, 菰野町鎌ヶ岳, 12. v. 1992; 2♀, 美杉村平倉, 16. viii. 1992; 1♂3♀, 宮川村迷岳, 7. x.

2000; 1♀, 同, 5. x. 2002; 1♂, 同仙千代ヶ峰, 2. ix. 1995.

<文献記録>一志郡美杉村平倉; 同 (550-900m) (野村・秋田, 2007).

77. *Labomimus* sp. 2

<採集データ>1♂1♀, 美杉村平倉, 16. viii. 1992; 4♀, 南島町能見坂隋道, 4. ii. 1996; 5♀, 同古和浦, 同日.

<文献記録>一志郡美杉村平倉 (550-900m) (野村・秋田, 2007).

Clavigeritae ヒゲブトアリヅカムシ上族

78. *Diartiger fossulatus ispartae* (KARAMAN) コヤマトヒゲブトアリヅカムシ中部近畿亜種

<採集データ>1♀, 四日市市水沢大谷, 5. vii. 1998; 1♀, 同宮妻峽, 7. v. 1995; 2♂2♀, 菰野町朝明溪谷, 6. vi. 1999; 3♂5♀, 同湯ノ山, 5. i. 1997; 1♂2♀, 同雲母峰, 3. iv. 1993; 2♂2♀, 同尾高山, 28. x. 1995; 1♂2♀, 亀山市野登山, 6. ix. 1992; 1♀, 同, 3. xi. 1995; 3♀, 上野市高倉神社, 28. ix. 1996; 1♀, 同依那具住吉神社, 1. iv. 2002; 1♂3♀, 同, 7. xi. 2002; 1♂1♀, 同外山, 1. iv. 2002; 島ヶ原村奥村三国林道, 9. xii. 1995; 1♀, 伊勢市剣峠, 16. i. 1999; 9♂3♀, 南勢町鍛冶屋峠, 31. i. 1998; 1♂1♀, 同礪浦, 7. iii. 1998; 2♂, 磯部町逢坂峠, 17. iv. 1993; 2♀, 同恵利原, 20. i. 2000; 1♂, 宮川村仙千代ヶ峰, 2. ix. 1995; 1♀, 紀伊長島町高塚公園, 13. iv. 1996; 1♀, 紀和町一族山, 7. vi. 1997; 1♀, 尾鷲市須賀利, 13. i. 1996; 3♂2♀, 同九木崎, 12. ii. 1996; 1♀, 同, 1. vi. 1996; 3♀, 同桃頭島, 4. v. 1996; 1♂2♀, 同ナサ崎, 5. i. 1993; 1♂1♀, 同三木崎, 25. xi. 1995; 1♂1♀, 熊野市楯ヶ崎, 12. xii. 1992; 2♀, 同, 28. ii. 1998.

<文献記録>津市片田井戸町 (80m); 尾鷲市三木崎 (50-300m); 久居市戸木敏太神社 (25m); 一志郡美杉村平倉; 同 (550-900m) (野村・秋田, 2007).

79. *Diartiger kubotai* NOMURA クボタヤマトヒゲブトアリヅカムシ

<採集データ>1♀, 四日市市水沢大谷, 5. vii. 1998; 2♀, 同宮妻峽カズラ谷, 27. xi. 1992; 4♂, 菰野町雲母II峰, 30. v. 2000; 2♂1♀, 宮川村迷岳, 7. x. 2000; 1♂, 同, 5. x. 2002.

<文献記録>一志郡美杉村平倉 (野村・秋田, 2007).

<引用文献>

ARAI S. and S. NOMURA (2007) A new genus, *Tenguobrythus*, and five new species of the *Iniocyphinae* subtribe *Natycleurina* from Japan (Coleoptera, Staphylinidae, Pselaphinae). *Entomological Science*, 10: 407-419.

野村周平・秋田勝己 (2007) 三重県で採集されたアリヅカムシ. *ねじればね*, (119):8-15.
他は前報を参照.

鹿児島県指宿周辺の海岸性甲虫類の記録

The List of Marine Coleoptera in and around Ibusuki, Kagoshima Prefecture, Japan

Masakazu HAYASHI and Yasuko KAWAKAMI

林 成多

〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島1659-5 ホシザキグリーン財団

河上康子

〒569-0826 大阪府高槻市寿町2-30-9

離島を除いた鹿児島県での海岸性甲虫類の記録は、海浜性ハンミョウ (例えば, 榎戸, 2000) やチャイロチビゲンゴロウ (松井, 2003) などの報告がある程度である。2006年9月, 筆者の一人である林は指宿市周辺の海岸で若干の甲虫類を採集した。あいにく台風の接近もあり, 野外調査が1日しかできず, 十分な成果を得ることはできなかった。しかし, 確認された種のリストは, 当地の海浜性甲虫相を解明するための一資料になると考え, ここに報告する。

調査地点は下記の通りである。

- (1) 指宿市湯の浜：砂蒸し風呂で有名な海岸。砂浜の粒度は中粒砂で、淘汰がよい。漂着した海藻下より採集した。
- (2) 指宿市開聞川尻：川尻漁港近くの河口。黒色の粗粒砂～細礫で、淘汰が悪い。漂着した流木下などから採集した。
- (3) 穎娃町番所鼻（ばんしょばな）：岩礁地帯で大小のタイドプールがある。水生甲虫類を探した。上記の地点ほか、指宿市花瀬崎（18. IX. 2006）で *Laius asahinai* NAKANE イソジョウカイモドキ♀を目撃したが採集できなかった。

採集した種のリスト ※は海岸性種。採集者はすべて林 成多。同定は基本的に河上が行い、標本はすべてホシザキ野生生物研究所に保管されている。

CARABIDAE オサムシ科

1. ※*Armatocillenus yokohamae* (BATES) キバナガミズギワゴミムシ 2exs., 開聞川尻, 18. IX. 2006.
2. *Paratachys sericans* (BATES) ウスオビコムズギワゴミムシ 1ex., 開聞川尻, 18. IX. 2006.
3. *Trichotichmus vespertinus* (HABU) キュウシュウツヤゴモクムシ 2exs., 開聞川尻, 18. IX. 2006.

DYTISCIDAE ゲンゴロウ科

4. ※*Liodessus megacephalus* (GSCHWENDTNER) チャイロチビゲンゴロウ 2exs., 穎娃町番所鼻, 18. IX. 2006.

HYDROPHILIDAE ガムシ科

5. *Cercyon laminatus* SHARP ウスモンケシガムシ 1ex., 指宿市湯の浜, 18. IX. 2006.

STAPHYLINIDAE ハネカクシ科

6. ※*Cafius vestitus* (SHARP) アバタウミベハネカクシ 2exs., 指宿市湯の浜, 18. IX. 2006.
7. ※*Cafius histrio* (SHARP) ホソアバタウミベハネカクシ 1ex., 指宿市湯の浜, 18. IX. 2006.
8. ※*Cafius rufescens* (SHARP) アカウミベハネカクシ 5exs., 指宿市湯の浜, 18. IX. 2006.
9. ※*Cafius algarum* SHARP ホソウミベハネカクシ 1ex., 開聞川尻, 18. IX. 2006.
10. ※*Myrmecopora rufescens* (SHARP) (和名なし) 2exs., 開聞川尻, 18. IX. 2006.

TENEBRIONIDAE ゴミムシダマシ科

11. ※*Micropedinus pallidipennis* LEWIS ヒメホソハマベゴミムシダマシ 2exs., 開聞川尻, 18. IX. 2006.

ANTHICIDAE アリモドキ科

12. *Anthicus baicalicus* MULSANT クロホソアリモドキ 1ex., 開聞川尻, 18. IX. 2006.

<文献>

- 榎戸良裕 (2000) 鹿児島県の海岸性ハンミョウ類の知見. SATSUMA, 50 (121): 1-6.
 松井英司 (2003) 鹿児島県で採集された水生昆虫類. SATSUMA, 35 (128): 11-16.

穂積俊文さんの逝去を悼む

大澤省三

6月21日、穂積さんの訃報が長谷川道明さんをはじめ、数名の方から届いた。享年 82歳。毎年、年賀状を欠かさずくださったのに、今年はいただけなかった。どうされたのかと心配をしていたが、まさかご病気とは知らなかった。穂積さんは、私より 2年上で、私の亡兄と小学校、中学校の同級生。住居も徒歩 5分くらいの近くだったので、子供のころからの虫好きの穂積さんと私との付き合いは 70年以上なる。昔風に言えば「竹馬の友」であり「刎頸の友」であるだけに、私にとっては大きな悲しみである。当時、ともに虫好きで交流の深かった江上信雄、家城 司、山本秀穂、加藤和彦、森部一雄さんらも次々と鬼籍に入られ、私の知る限りでは蝶の高橋 昭さん、トンボの山本悠紀夫さん、甲虫や蝶の都筑守

恭さんの 3人だけが健在。淋しい限りである。

甲虫愛好者で穂積さん知らない人は、まずいないだろう。穂積さんは虫を愛する人と穏健な優しさで接し、多くの昆虫愛好家を育てられた。名古屋昆虫同好会の会長、日本鞘翅(目)学会名古屋支部長を長年つとめられ、多くの人から慕われ愛されたのは、このような人柄のせいであろう。私が穂積さんの思い出を書き出したら 1 冊の本になってしまうほどある。中学生のころは、ほとんど毎日のように穂積さんが拙宅へ来たり、私が穂積さん宅へ行ったりして、虫三昧の交流がつづいた。中根先生が名古屋大学に赴任される前だから、穂積さんが中学(愛知一中、現旭が丘高校)3年生、私が1年生のころ、故大倉正文さんが三重県久居におられ、2人で訪問したことがあった。ゴミムシの大家と聞いていたので、名古屋付近竜泉寺裏の庄内川原でとれたゴミムシ数種を持参した。その中にはフタモンクビナガゴミムシ、カワチマルクビゴミムシ、フタモンマルクビゴミムシなどがあつた。前の2種は稀、フタモンマルクビはキベリマルクビ、オオマルクビとともに普通にとれた(現在は河川工事で絶滅)。当時の私たちは平山修次郎著の甲虫図鑑、安達綱光/神谷一男著の甲虫図譜でしか同定の手段がなく、穂積さんはフタモンクビナガもカワチマルクビも新種だという。とにかく図鑑にないものはすべて新種だと思っていたたわいもない駆け出しの頃である。大倉さんは、「これら2種は大阪付近では極めて普通」と言われ、私たちが見たことなかったチビアオゴミムシとともに、紙包みの標本をいただいた。ただ、フタモンマルクビは大阪付近では大珍品だと大変喜ばれたと記憶している。大倉さんの芸術品とも言える見事なゴミムシの標本をみせてもらいながら、食料難でほとんどお目にかかることのなかった「うな重」をご馳走になった。甲虫の知識、経験について私たちとのレベルの差のあまりにも大きいことを認識させられ、おおいに啓発された。

その後、2人は相次いで旧制第八高等学校に進学、卒業後は、穂積さんは名古屋大学医学部へ、私は理学部生物学科へ進んだが、虫屋としての交流は密接に継続した。ちなみに、穂積さんが医学部へ進まれたのは、父上が名古屋市立病院の副院長をしておられたという事情があつたと聞いている。私はそのうちに虫屋を廃業して、分子生物学の道へ進んだ。穂積さんはその後、小牧市立病院長などを経て、医院を開業されたが、虫屋としての活躍をこつこつとつづけられ途絶えることはなかった。私が虫をやめている間も、個人的な付き合いがなくなった訳でなく、穂積さんの小牧のご自宅へは何度もお邪魔をしたし、私が当時いた広島へも穂積さんが1、2度訪問され旧交を暖めた。また、しばしば手紙や電話でのやりとりがあつたが、穂積さんの手紙は一見して分かる極めて特徴的な文字で書かれていたし、標本のラベルも丹念に穂積流の筆跡で記されていることは、大平仁夫さんが「穂積俊文博士記念論文集」(2001)の中で紹介しておられるとおりである。

晩年は穂積さんの昆虫におけるライフワーク「東海甲虫誌」の基礎となつた70余年にわたる収集標本をすべて豊橋市の自然史博物館に寄贈され、末永く貴重な研究資料として活用されることとなつたのは喜ばしい限りである。

とくに、東海地方の甲虫に関しては穂積さんの資料を超えるものはないであろう。私は大学定年後、生命誌研究館でオサムシの分子系統の研究を始め、数年を経過したところで、「高槻京都ホテル」において「DNAで辿る昆虫の系統と進化」と題したシンポジウムを開いた(2000.2.11~12)。穂積さんにも出席していただいたが、添付の写真はその折の懇親会でのスナップである(右:穂積さん、左:筆者)。その穂積さんも今や幽冥境をわけることになってしまった。心からご冥福をお祈りする。



書籍紹介 (I)

「糞虫たちの博物誌」 見て、触れて、感じる 一虫宇宙の不思議と魅力

青土社 2007年5月 塚本珪一著

私が初めて塚本珪一先生とお目にかかったのは 1994年 2月19日、フン虫図鑑を作ろうという企画が関西のほうで持ち上がりかけたときのことだったと記憶する。その打ち合わせも兼ねて一杯やろうという話になり、塚本先生行きつけの四条河原町のピアホールで京都市在住の大石久志氏、私と大学で同期の越智輝雄氏も加わり、大変な盛り上がりようであった。今にして思えば企画倒れになるような話題も次々に飛び出し、お開きのタイミングをなかなか見い出せなかった。

塚本先生はご存知のように過去に多数の著作論文を発表されておられるが、今回「糞虫たちの博物誌」と題して青土社から 266ページにわたる本を出版された (税別 1,900円)。内容はフン虫以外にもご自身でこれまで興味を持ってこられた昆虫のことなど多岐にわたっており、ご本人が楽しみながら執筆されている様子がひしひしと伝わり、一方で日本のフン虫の分類・分布・生態などの最新情報を基に自然に対する著者の考え方をまとめ、そして補強されておられる。過去のすばらしい日本の自然を肌で感じて育てこられた著者は、人類営力によってこれらが失われていくことに大きな寂しさを感じているのは私達も同感である。

もともと先生は採集自体に執着されることが少なく、どちらかといえばお付き合いにおいても非常に淡白な御性分で本文中の随所にその温厚なお人柄が見え隠れしている。かつては大きな登山隊を組織する中枢におられた方として、二者択一を迫られるときとそうでないときの微妙な人間関係のやり取りを数多く経験されてこられたゆえんであろうか。日本産のフン虫の最新情報と「塚本イズム」を知る一冊として、会員の方々にもご一読をお勧めしたい。なお、「今月の本」として谷角素彦氏によって『月刊むし』No.438 (2007年8月号) p.67 にも紹介文が掲載されている。(春沢圭太郎)

書籍紹介 (II)

「生物学名辞典」 東京大学出版会 2007年7月 平嶋義宏 著

筆者はかつて九州大学農学部昆虫学教室の主任教授をつとめたハナバチ類の研究者として世界的に名高い学者であるが、「蝶の学名」、「生物学名命名法辞典」、「生物学名概論」など学名や命名規約の解説書も著している貴重な存在である。

本書はその集大成ともいべきもので、動物、植物、菌類の学名について、幅広くその構成と意味を総覧した大著である。全体は12章に分かれ、はじめの第 1-5 章は、学名を構成するラテン語の文法に即して、「古典語の変化語尾」、「接頭辞」、「接尾辞」、「縮小辞」、「一般的な形容詞」とつづいていく。読者はこれらの章を、あたかも読み物を読むようにして、日ごろ使い慣れない、ギリシャ語やラテン語の構成に慣れてゆけばよいのではないだろうか。

第6-12章は、動植物の属性、つまり色や形に即しているもので、より実践的といえるだろう。「色」、「形と寸法」、「表面構造」、「動物体の構造」、「植物の構造」、「環境」、「動物の行動」といった様々な特徴から生物の学名が構成されていることをわかりやすく解説している。野村の個人的な感想として、第8章「表面構造に関する用語」は極めて有益であり、かつ斬新なアイデアであるように感じた。走査型電子顕微鏡 (SEM) の発達普及によって、生物体の表面構造は詳しくわかるようになり、それにちなむ学名も増えているからだ。「孔のある、凹みのある」、「網状の、網目状の」、「粗い、ざらざらした」、「皺のよった、襞のある」などの項目には 36の用語と、その用例としての多数の学名が解説され

ている。これほどまでにさまざまな表現の方法があるのかと、感心することしきりである。

各章には多くの囲み記事と、「命名法ドリル」と銘打った学名作成の例題が示されている。囲み記事は、様々な生物の面白い命名の例を示しており、あらゆる生物の学名に造詣の深い著者の面目が躍如とした、珠玉のコラムである。また、学名の命名や、古典語からの造語の現場において、「命名法ドリル」を単に読み下すだけでも、最強の予習法となることはいうまでもないだろう。本書にはまた、登場する多くの生物の姿かたちが写真（驚いたことに、著者自らが世界各地で撮影したものも少なくない）や挿図によって示されている。これらの工夫によって、「辞典」と銘打ってあるにもかかわらず、楽しく読み進んで行くことができる。本書は研究者が古典語（ギリシャ語とラテン語）とさまざまな学名を独りで学習できる貴重な教科書でもある。

近年ではアマチュアでも数多くの昆虫（または他の生物）に命名することはまれではないが、本書や類書を熟読することによって、正しい古典語の知識を身につけ、それに基づいて正しく造語された新種名の構成を望みたい。定価 45,000円とお高いが、それ以上の価値のある本である。難しい学名、目新しい学名に行き当たるたびに、参照したい好著である。 (野村周平)

会務報告

行事報告（2007年合同採集会）

今年の日本鞘翅学会との合同採集会は、7月21～22日に04年以来 2回目の徳島県剣山で実施された。日本甲虫学会の会員の方々、鞘翅学会会員でダニの研究で



著明な青木淳一氏、大木 裕運営委員、愛媛大学より酒井雅博氏と学生の方々、熊本、大分、広島、岡山の方々、長崎平戸の中学生まで多士済々の41名と近年にない多数が参加され、21日夕刻 6時に見の越剣山



神社に顔をそろえ、夕食を囲み、自己紹介もかねて一人一話の和やかな会話を 8時ごろまで楽しんだ。その後、吉田正隆氏と中山 紘一氏により設営された 2ヶ所のライトトラップで採集した。幸い夕刻より周辺は濃い霧がたちこめ、沢山の蛾にまじり、ゴミムシ類、カミキリモドキ類も飛来し、ヒメオオクワガタを採って喜んでいる方もいた。ライトトラップに参加しない人達は宿舎でアルコールトラップ?で夜がふけるまで虫談を楽しんでいたようだ。翌朝、朝食後 8時に神殿前で記念撮影を済ませ、散会し、霧雨の中をそれぞれの目的に合わせてルートへ散らばり採集に勤

しんだ。連泊される方も 5名ほどいた。

最後に剣山での入林許可証の手続、神社での宿泊手配、目的地への道順案内など合同採集会全般にわたるお世話をいただいた吉田正隆氏と徳島虫の会の皆様に厚くお礼申し上げる。 (野村英世)

地域甲虫自然史 No. 3 「和佐又山産甲虫類目録」訂正 (日本甲虫学会)

- 1) 口絵3頁目下段2番目と3番目のハネカクシの画像:
Erichsonius itoi イトウヒメホソハネカクシ と *Anisolinus hayashii* クロブチヒゲハネカクシ の写真が
 入れ替わりました。写真下の種名・データを相互に入れ替えてください。
- 2) 口絵7頁目, 3段目右端の画像:
 キアシイクビチョッキリ *Deporaus fuscipennis* と訂正してください。誤同定を指摘してくださ
 いました的場 績氏にお礼申し上げます。
 これに対応する目録 p. 101:12. *Deporaus ohdaisanus* クロヘリイクビチョッキリ のデータの中, C,
 野村英世. を削除し, 11. *Deporaus fuscipennis* キアシイクビチョッキリ のデータの中にこれを移
 してください。
- 3) 口絵4頁目下段左端の画像: アオアシナガハナムグリ
 学名 *Gnorimus subopacus* を *Aleurostictus subopacus* に変更してください。
- 4) ルリクワガタ類の名称の変更:
 本目録の発行後, 井村有希(2007), *Elytra*, Tokyo, 35: 471-489 にて日本産の *Platycerus* が検討され,
 各種の名称が変更されたので, 本目録に採録されたものは以下のように変更されます。P. 26 の03.
Platycerus delicatulus delicatulus LEWIS (和名) ルリクワガタ → オオルリクワガタ (口絵4頁目,
 上段左端の図) 05. *Platycerus sugitai* OKUDA & FUJITA ニセコルリクワガタ → *Platycerus akitaorum*
 IMURA キイルリクワガタ
- 5) ハダカヒゲボソゾウ *Phylobius subnudus* (P. 104, 04.) の記録はフトヒゲボソゾウ *Phylobius*
breviculus MORIMOTO & MIYAKAWA に訂正。もしも正確なハダカヒゲボソゾウを採集された方は,
 連絡願います。

ねじればね121号 Nejurebane No. 121

2007年 12月31日 31. Dec. 2007

発行者: 日本甲虫学会 The Japan Coleopterological Society

発行所: 日本甲虫学会 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

大阪市立自然史博物館・昆虫研究室気付

Entomological Laboratory, Osaka Museum of Natural History, Osaka, 546-0034, Japan

振替口座: 00990-8-39672 URL: <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/jcs.html>Tel: 06-6697-6221 Fax: 06-6697-6225 E-mail: shiyake@mus-nh.city.osaka.jp

編集: 伊藤建夫, 林 靖彦, 谷角素彦, 初宿成彦, 保科英人, 安井通宏

原稿送付先: 伊藤建夫 〒614-8371 八幡市男山雄徳7 E12-102 Tel.(Fax.) 075-983-3491

E-mail: itokyoto@gb3.so-net.ne.jp (和文 E-mailでの投稿を歓迎します)

入会及び会費問合せ先: 野村英世 〒590-0144 堺市赤坂台 1-18-5 Tel. 0722-98-4066

(年会費: A会員 5,000 円; B会員 6,000円)

昆虫学評論原稿送付先 (英文): 林 靖彦 〒666-0116 川西市水明台 3-1-73 Tel. 0727-93-3712

E-mail: hayashiy@silver.ocn.ne.jp